



群馬県キャンプ協会

発行元: 群馬県キャンプ協会

事務局: 373-0851 群馬県太田市飯田町203-3

Tel/Fax **0276-46-3929**<http://gunma.camping.or.jp/>

キャンプ協会

キッズ委員会

チャレンジ委員会

指導者養成委員会

広報・組織拡張委員会

委員会名	指導者養成委員会
活動名	平成26年度BUC「キャンプで使えるオリエンテーリング 秋のコース編」
実施日	平成26年10月5日(日)
会場	群馬県前橋市嶺公園
参加人数	合計5人(男子4人, 女子1人)
スタッフ人数	合計5人
主な内容	・講習: コンパスの使い方、地図の読み方 ・競技: 前橋オリエンテーリング大会参加

今回のBUCは、コンパスの使い方・地図の読み方の講習と、前橋オリエンテーリング協会主催「前橋オリエンテーリング大会」参加という2部構成で企画しました。

当日は台風の影響で、電車が止まるなど交通機関も心配される中、東京から2名、埼玉から1名の県外参加者がありました。講師の群馬県オリエンテーリング協会前会長倅田正也氏は、毎年海外のオリエンテーリング大会に参加し、競技歴、大会運営歴ともにキャリアを重ねた県協会の重鎮です。講習では、オリエンテーリングの起源から始まり、競技に関する基礎的なコンパスの使い方、地図の読み方の他、大会運営方法にも触れられたもので、初心者にも分かりやすく、勉強になりました。講義後半は、実際に参加者全員が地図とコンパスを持って講義室裏手の林に入り、地図とフィールドの確認作業をしました。

その後、競技会場に移動し、いよいよ大会参加です。競技にはスタッフも加わり、チームはスタッフと参加者でペアを組み、2人1チーム編成のフィットネス混合チームで参加しました。その内、BUC講習参加者の3組がフィットネス部門で上位入賞を果たしました。1位は西田雅人キッズプログラム委員長チームでした。当BUC参加チームの中には、台風の雨の中コースを走ったチームもあり、積極的に得点を競い合いました。ゴール時の参加者の顔はみな晴れやかで、オリエンテーリング協会からいただいたご褒美の赤城のりんごを美味しそうに頬張っていました。表彰式後の感想は「大変楽しく充実したBUCであった」と好評でした。大会は読売新聞社が取材に訪れ、後日、新聞紙上に大会の様子と上位入賞者名が掲載されました。

今回のBUC講習では、大会を運営したオリエンテーリング協会とも交流でき、実際の競技運営を間近で見られ、このことは、今後のキャンプ活動にオリエンテーリングを活用していくにあたり、大変有益であったと思われます。今後も、他の野外教育関係団体との交流が図れるようなBUCを視野に入れながら、楽しく有意義な企画をしていきたいと思います。

(指導者養成委員会 吉田恵子)



キャンプ協会

キッズ委員会

チャレンジ委員会

指導者養成委員会

広報・組織拡張委員会

委員会名	キッズプログラム委員会
活動名	ホップ★すってぷ★キャンプ 2014
実施日	平成 26年 10月 25日(土)から 10月 26日(日)【 1泊 2日】
会場	群馬県立東毛青少年自然の家
参加人数	合計 20人(男子 12人, 女子 8人)
スタッフ人数	合計 10人
主な内容	・ペットボトルランタン製作 ・ジャック、オ、ランタン製作 ・フェイスペイント&ハロウィンパーティー ・ハロウィンハイク ・バームクーヘン作り ・焼き印作り

毎年恒例の1泊2日の親子キャンプですが、ハロウィン直前の週末という事で、ハロウィンをテーマにしてサブタイトルをくまるとハロウィン>として、パーティーイベントを演出しました。

参加者は、大人12名 子供8名で例年に比べるとやや人数も少なく、少しさみしいキャンプとなりましたが、とても笑顔であふれる2日間を楽しく過ごせました。

こじんまりした人数も幸いたため、参加者とスタッフ織り交ぜ会話が弾む楽しいキャンプを、ゆったり味わうという良い結果も得られました。



初日には開会式、アイスブレイクの後に、子供たちにはペットボトルで作るランタン作りをしました。大人たちは、段ボールで作る“ジャック・オ・ランタン”作りです。さらには、ナイフやフォークを使って、本物のオレンジかぼちゃの“ジャック・オ・ランタン”も作りました。

このクラフトで出来上がったものは、夕食後に行うハロウィン・パーティー(キャンドル・ファイヤー)用のディスプレイとして大人たちに会場作りしてもらいました。

ハロウィン・パーティーでは、様々なゲームをして楽しみました。

“ジャック・オ・ランタン”が、醸し出す綺麗なディスプレイは、とてもパーティーを盛り上げてくれました。

翌日に子供たちは、追跡ハイクを楽しみ豊かな自然のもと木立の散策よろしく指令書の課題を四苦八苦しながらもゲームクリアしました。この後は、焼き印のお土産作りです。

直径 5～6センチの輪切りにした木片に綺麗にヤスリ掛けした後、焼き印を押して紐とウッドビーズを付け出来上がりです。みんな上手にお土産が出来上がりました。

大人たちは、子供が遊んでいるうちにバームクーヘンの下ごしらえです。生地を作った後、パイプに回しかけ地味な作業の繰り返しです。

何度も繰り返し少しずつ大きくなるバームクーヘンに興奮しながら作りました。段々と大きさを増してくると、追跡ハイク、焼き印作りを終えた子供たちも参戦です。家族みんなで、交代しながらの共同作業のうち立派なバームクーヘンを、作る事が出来ました。

バームクーヘンでは、2回も下見を行い2度とも美味しいバームクーヘン作りに成功して本番に臨みましたが、結果出来上がったバームクーヘンは、ややクッキーに近いお土産バームクーヘンとなってしまいました。ほんの少しの失敗でも、とても良い経験と指導の勉強となる物でした。

こうして天気に恵まれた2日間を終えて、秋のほのぼののキャンプは、閉会式をむかえる事となりました。





Information [インフォメーション]

★平成27年度の会費・更新料は納入済みですか？

まだ、平成27年度の会費・資格更新料の納入がお済でない方は、早めに納入の程よろしく願いいたします。便利な口座振替もご利用下さい。口座振替は日本キャンプ協会へお問い合わせ下さい。

キャンプディレクター1級(D1)・・・8,000円

キャンプディレクター2級(D2)・・・7,000円

キャンプインストラクター(Ⅰ)・・・6,000円

お忘れの方は、お早めに。

＜キッズプログラム委員会・チャレンジプログラム委員会からのお知らせ＞

スタッフが不足しています。

これを機に活動してみませんか？

ぜひ、事務局までご一報ください。

＜広報・組織拡張委員会からのお知らせ＞

協会のHPがリニューアルしました。

<http://gunma.camping.or.jp>

お気に入りなどにご登録いただくことをおすすめいたします。

平成26年度「かわら版22号」が完成しました。

皆さんに役立つ情報をお届け出来るように工夫を凝らしていきますので、よろしくお願いします。

発行責任者：小野里 清治

編集担当：野口 雅樹

次回のかわら版は

広報誌の無断転載を禁じます。希望者にはPDF配布も可能です。

3月上旬発行予定です。